

おうちの
相談室

【問い】入れ歯が痛いので、歯医者で入れ歯と歯茎との間に軟らかい材料を入れてもらいました。痛みは引いたのですが、張り替えが必要だと言われました。妻は軟らかい材料をそのまま使用していますが、やはり張り替えが必要でしょうか？

（長崎市、82歳男性）

【回答】せっかく良くなったのに、張り替える必要があるか疑問に感じているんですね。奥さまは張り替えずにうまくいっているのでは、なつかしいでしょう。歯科医院で入れ歯の内側に使用する材料は大きく分けて2種類あります。「粘膜調整剤」と「義歯床用軟性裏層材」です。粘膜調整剤は、使用中の入れ歯の内面に使用して、入れ歯の下部の粘膜を健康な状態に回復するために用いられる材料です。使用する材料は通常長期間は使用できず、症状改善後は入れ歯の内面を新しい材料に置

入れ歯に使用する軟らかい材料

目的、期間異なる2種類

き換えるか、入れ歯を新しく作るかする必要があります。

一方、義歯床用軟性裏層材は、顎の骨が著しく減っている、硬い素材では症状の改善が困難である下の総入れ歯などの内側に使用する材料です。こちらも同じく軟らかい素材ではありませんが、長期間使用することを想定して作られているため、症状改善後も継続して使用することができます。

ご相談の内容から想像すると、ご主人の入れ歯には粘膜調整剤を、奥さまの入れ歯には義歯床用軟性裏層材を使用しているのかもしれませんが、もしそうであれば、ご主人の入れ歯の内面に使用している材料は、そのまま使用すると早い段階で劣化が始まりますので、長期使用できる材料へ張り替え、もしくは入れ歯を新しく作る必要があります。

ただ、最初は粘膜調整剤として機能し、時間がたつと床用裏層材として機能する材料などもあり、現在の入れ歯の状態の詳細は分かりませんので、かかりつけの歯科医院を受診して、歯科医やスタッフに尋ねてみてください。

回答者
志 浩 ひろ
松本 まつもと



扇町歯科医院院長
（長崎市扇町）

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。